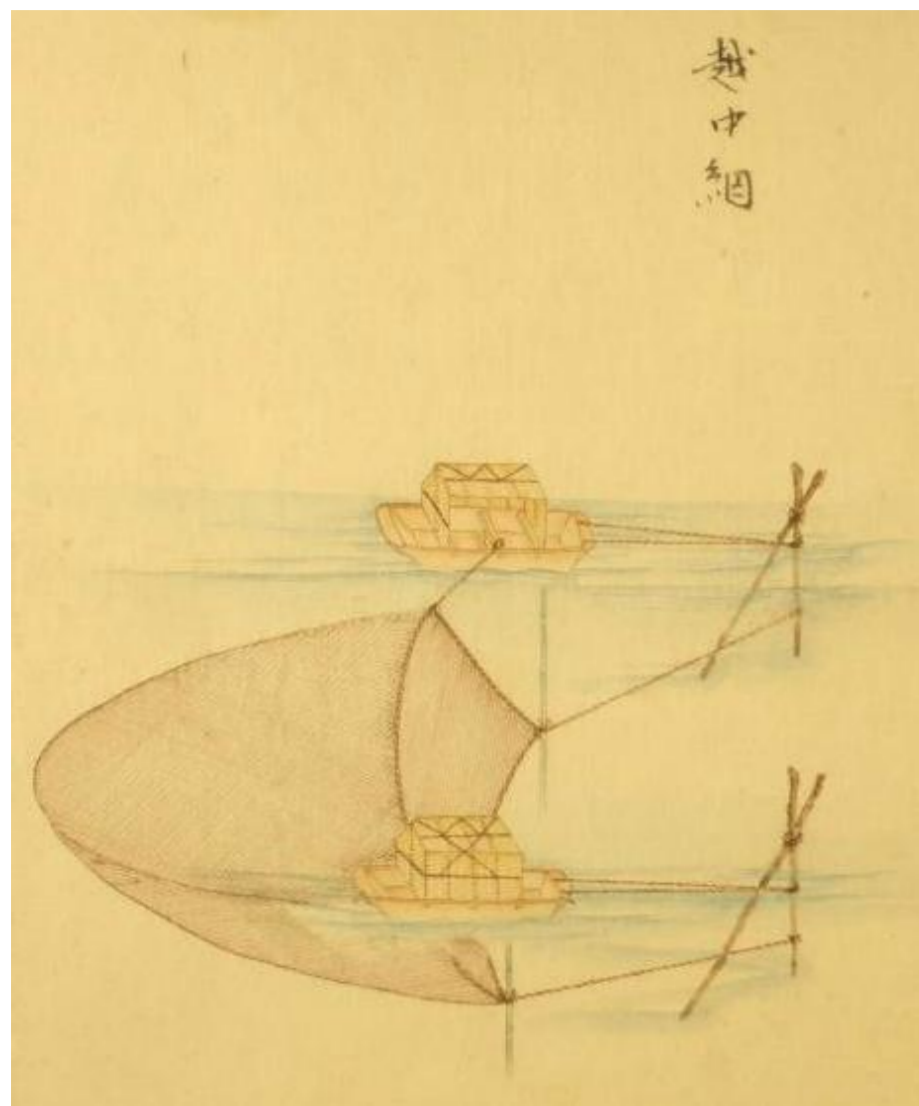


II 松江の産業

①明治はじめの松江の漁業

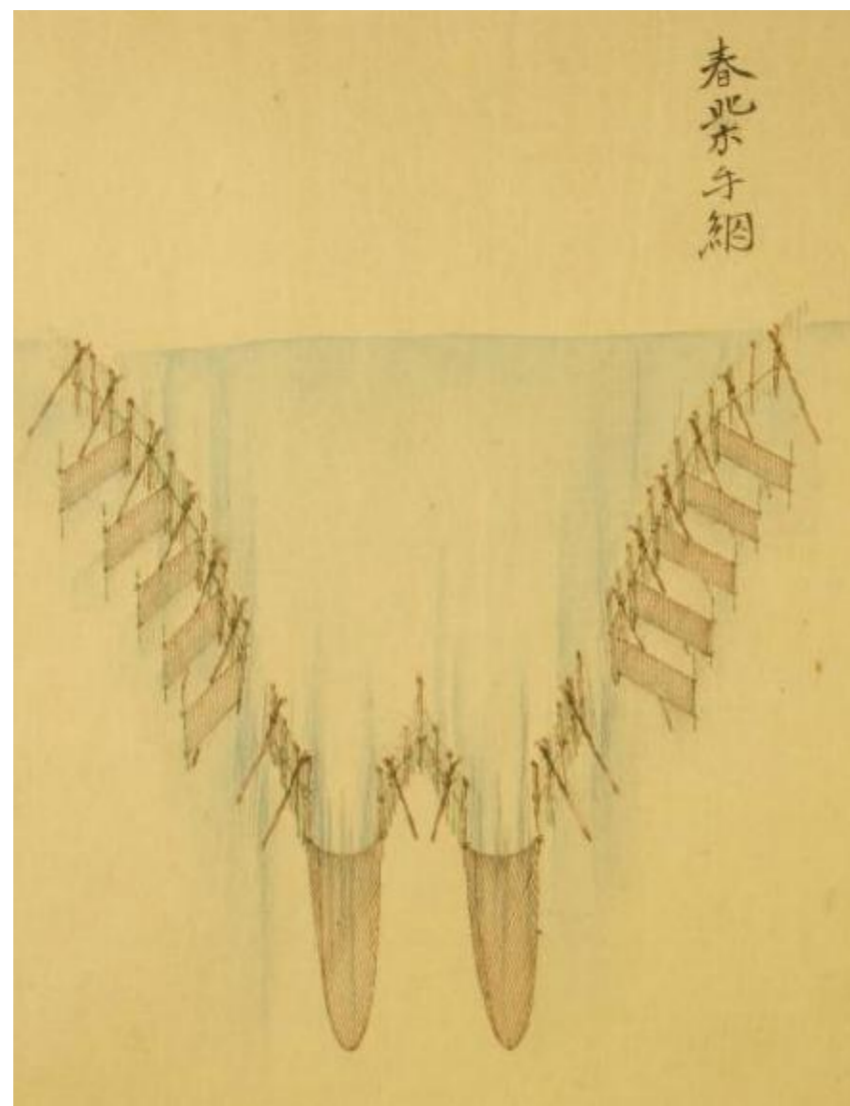
松江で行われていた、明治はじめの漁撈方法は、『出雲石見魚漁図解』によって知ることができる。



越中網

場所:大橋川

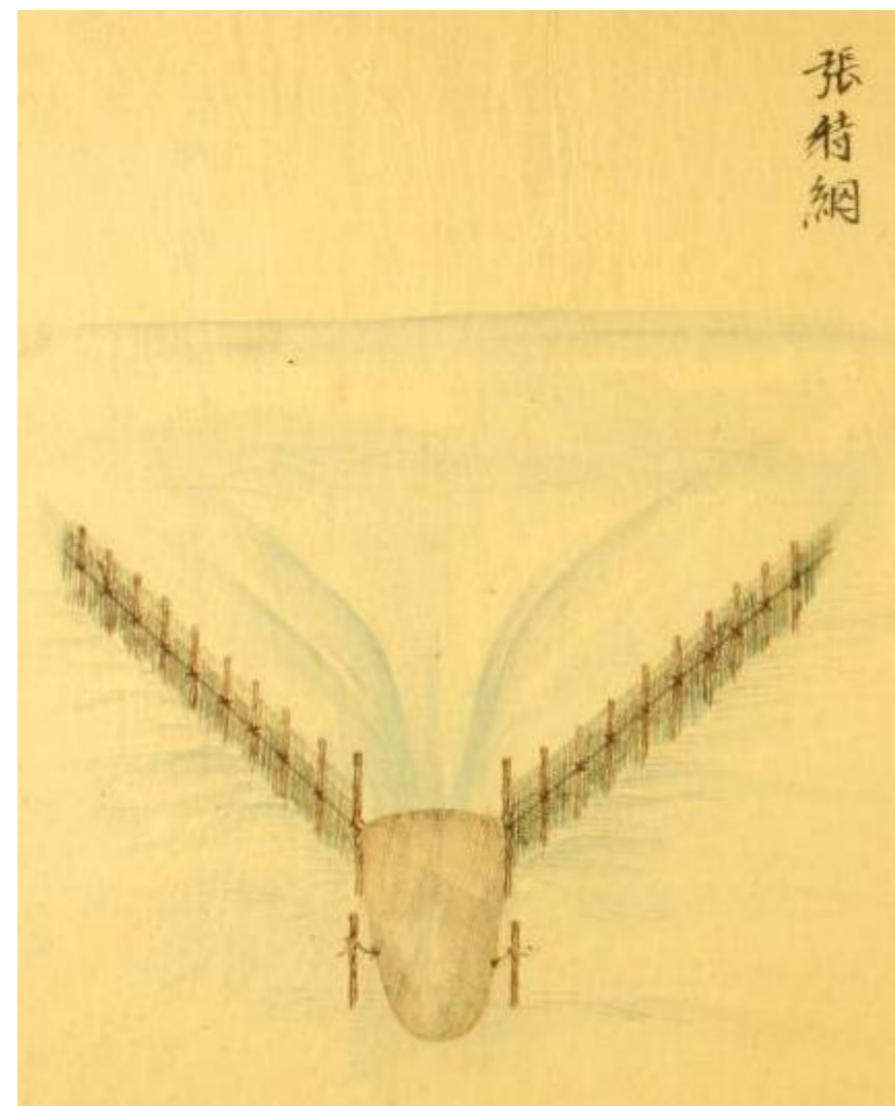
対象:スズキ・ボラ・ハゼ



春柴手網

場所:西川津村・末次村

対象:シラウオ・フナ



張待網

場所:大橋川

対象:スズキ・ボラ・ハゼ



四手網

場所:宍道湖・大橋川

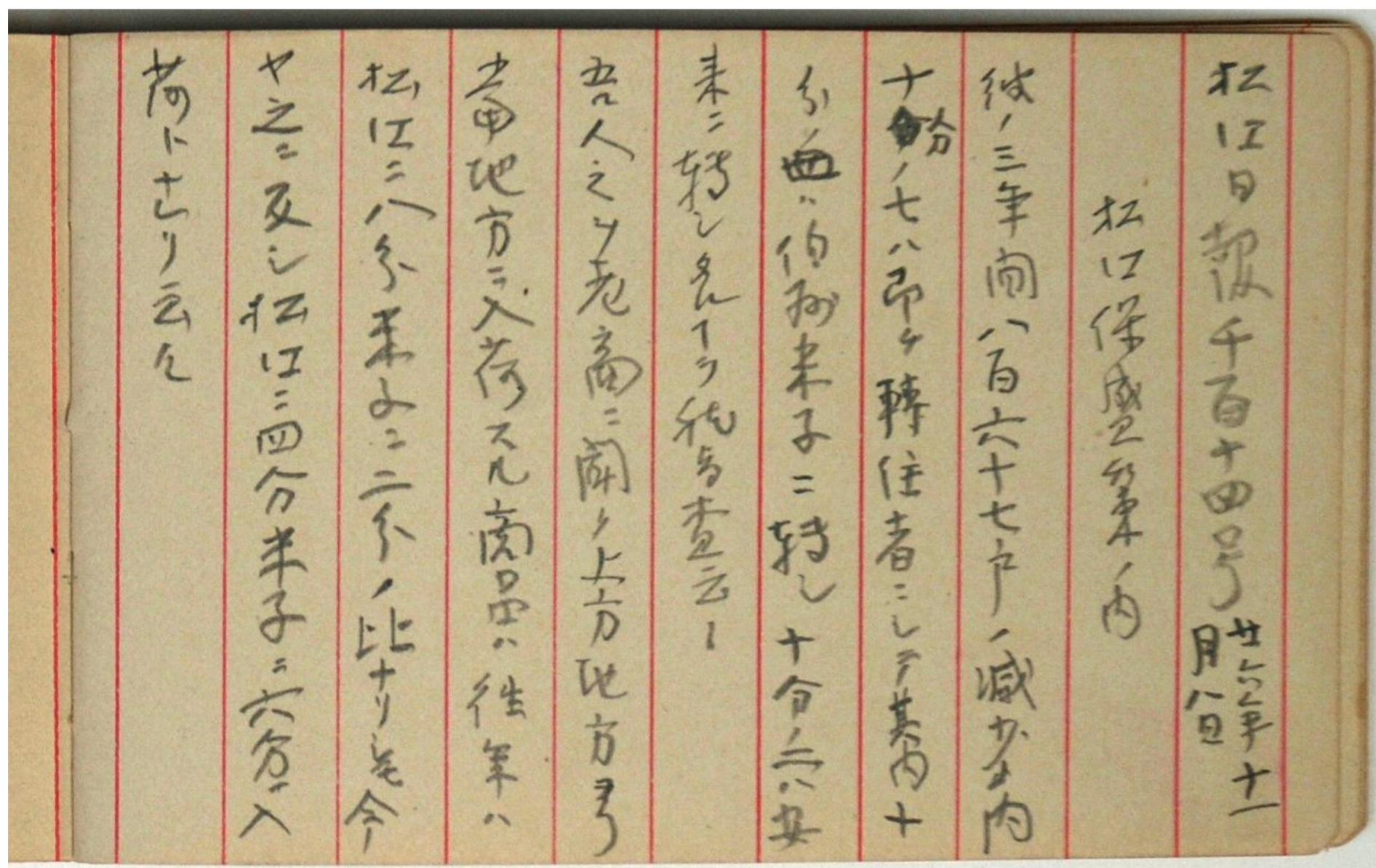
対象:コイ・フナ・ウナギ・スズキ・ボラ・ハゼ

つきのり

②松江の発展に尽くした初代松江市長・福岡世徳

初代松江市長・福岡世徳は、近代化に出遅れた松江を発展させるために尽力した。

なかでも、工業学校・高等女学校の開設、生産製造伝習所の開設、山陰線の延伸・敷設、松江の外港である馬潟港の浚渫、歩兵第63連隊の古志原誘致といった教育・産業・交通政策などは、福岡の功績として高く評価されている。



初代松江市長・福岡世徳の「松江復興策」の原点

—自筆『公務手帳』に記された日清戦争前の松江市の人口減少記事—

ふくおか つきのり

福岡世徳 (1848~1927)

嘉永元(1848) 松江藩士・吉田蔵六の二男として生まれる。

文久4(1864) 松江藩砲術士になる。

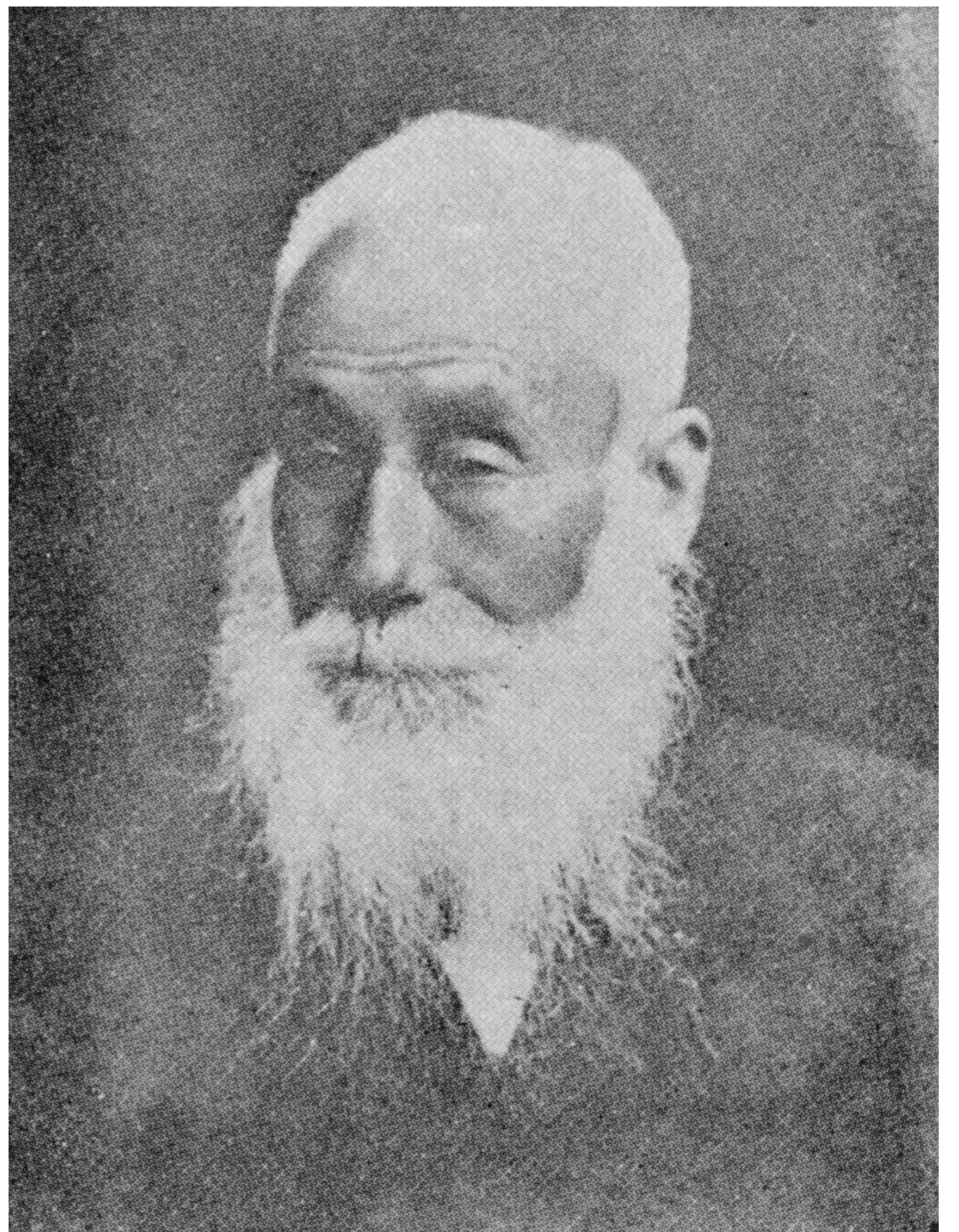
明治4(1871) 島根県官吏になる。

明治9(1876) 小学教師になる。

明治18(1885) 代言人(現在の弁護士)になる。

明治22(1889)~明治44(1911) 初代松江市長。

大正元(1912)~大正3(1914) 衆議院議員。



福岡世徳『松江市史』1941年より

👉 関連リーフレット:⑨「福岡世徳と園山勇」